

衆議院原子力問題調査特別委員会ニュース

【第204回国会】令和3年4月27日（火）、第4回の委員会が開かれました。

1 原子力問題に関する件（原子力規制行政の在り方）

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）アドバイザー・ボード会長

政策研究大学院大学名誉教授

黒川清君

アドバイザー・ボード会員

東京理科大学経営学研究科教授

石橋哲君

アドバイザー・ボード会員

国際大学副学長・国際大学大学院国際経営学研究科教授

橘川武郎君

アドバイザー・ボード会員

長崎大学核兵器廃絶研究センター副センター長・教授

鈴木達治郎君

（質疑者）津島淳君（自民）、浅野哲君（国民）、中野洋昌君（公明）、藤野保史君（共産）、

足立康史君（維新）、山崎誠君（立民）

（質疑者及び主な質疑事項）

津島淳君（自民）

- （1） 新型コロナウイルス感染症に対する危機管理に直面する中で改めて東京電力福島第一原子力発電所（以下「福島第一原発」という。）事故の教訓として認識すべき点についての石橋参考人の見解
- （2） 多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）の海洋放出については透明性を持ってデータを開示し海洋放出の妥当性を示していくことが重要であるとの考えに対する黒川参考人の見解
- （3） 米国の原子力発電所における廃炉に係る費用負担の在り方についての橘川参考人及び鈴木参考人の見解

浅野哲君（国民）

- （1） 衆議院原子力問題調査特別委員会のこれまでの活動に対する黒川参考人及び石橋参考人の評価
- （2） 原子力規制行政の在り方として原子力規制委員会が事業者の裁量に任せる部分を再点検する必要性についての橘川参考人の見解
- （3） 直接処分した使用済み燃料に関する将来の使用の可逆性と不可逆性に対する鈴木参考人の見解
- （4） 原子力関連分野に係る人材確保及び技術の伝承に関する今後の取組の方向性についての鈴木参考人の見解

中野洋昌君（公明）

- （1） ALPS処理水の海洋放出方針決定についての評価及び風評払拭に向けた取組への留意点についての黒川参考人及び鈴木参考人の見解
- （2） 福島第一原発の廃炉の取組に関する進捗状況の評価及び最も懸念される点についての鈴木参考人の見解
- （3） 東京電力柏崎刈羽原子力発電所（以下「柏崎刈羽原発」という。）における核物質防護設備の機能の一部喪失事案も踏まえた東京電力の体質改善策についての橘川参考人及び鈴木参考人の見解
- （4） 核燃料サイクルによる再処理と直接処分の併用の得失についての橘川参考人の見解

藤野保史君（共産）

- （１） 関西電力美浜原子力発電所及び高浜原子力発電所が所在する福井県への政府職員による頻繁な出張は各発電所の再稼働に向けた地ならしであるとの指摘についての黒川参考人及び鈴木参考人の見解
- （２） 原子力発電所の運転期間 40 年ルールは寿命ではなく評価を行うタイミングであるとの原子力規制委員会の見解の是非についての各参考人の所見

足立康史君（維新）

- （１） 原子力発電所のリプレースについては小型の次世代炉にも焦点を当てて議論すべきとの考えに対する橘川参考人の見解
- （２） 廃炉作業により高レベル放射性廃棄物等が発生すること及びその最終処分を行う場が決まっていな
いことなどに鑑みると福島第一原発の敷地を最終的に更地にすることは不可能であるとの考えに対す
る鈴木参考人の見解
- （３） ALPS 処理水は科学的に問題のない安全なものであるとの認識に対する黒川参考人の見解
- （４） ALPS 処理水を全国の海洋で放出することに対する各参考人の見解
- （５） 石橋参考人の意見陳述にあったオーラルヒストリー集積の重層的推進が意味する具体的内容

山崎誠君（立民）

- （１） トリチウム分離技術の実用化の可能性に関する鈴木参考人の認識
- （２） 近藤元原子力委員会委員長がシミュレーションした福島第一原発事故による被害の最悪のシナリオ
についての鈴木参考人及び黒川参考人の所見
- （３） 最悪のシナリオを回避できた理由についての鈴木参考人の見解
- （４） 原子力施設の基準地震動に関する規制の現状に対する黒川参考人の見解
- （５） 柏崎刈羽原発における核物質防護設備の機能の一部喪失事案に関する原子力規制庁の対応について、
規制の劣化が起きているとの認識に対する黒川参考人の見解
- （６） 現在の原子力規制で原子力発電所を稼働させることについての橘川参考人の見解
- （７） 原子力発電所の危険度の最小化を確率論で議論することの妥当性についての橘川参考人の見解
- （８） 国会事故調報告書が事故原因として挙げていた「組織の利益を最優先とする組織依存のマインドセ
ット」により原発の再稼働が進んでいるのではとの認識に対する石橋参考人の見解